

第1回粟国空港PI評価委員会の指摘事項と対応方針について

整理番号	項目	指摘事項（評価・助言）	対応方針（PIプロセスへの反映）
1	PI実施計画段階における情報提供方法について	PI実施計画書（案）のダイジェスト版を作成して各戸に配布してはどうか。	PI実施計画書（案）のダイジェスト版を作成し、全世帯に配布する。
2	PI実施計画段階における意見募集方法について	実施計画書（案）に関する意見収集は、実施計画書の中身ではなく、必要性などに踏み込んだ意見が多くなってしまわないか。	PI実施計画書（案）のダイジェスト版の中で、今回は、実施計画書（案）の内容に対する意見募集であることをわかりやすく記述する。
3	PI実施目標について	空港の拡張ありきというPIではなく、「本当に空港というものが、村民にとってどうなのか」ということを率直に聞いて、なおかつ「粟国が好きか？」県民を含めて「どんな人たちがどんな意見をもっているのか」ということを知ることができる、粟国村をしっかりとアピールするチャンスとなるようなPIにして欲しい。	PI実施計画書（素案）の2頁、「PI活動の基本方針」において次のとおり追記し、取り組んで行きたい。 『併せて、来島者の増加や、地域おこしにつながる粟国村の良きPR機会となるよう配慮します。』
4	PI実施目標について	PIでは、各個人の率直な意見を聞きたい。	『粟国空港調査報告書』（冊子）の折込ハガキや沖縄県及び粟国村のホームページから、個人が意見を直接表明できる機会を確保する。 なお、『粟国空港調査報告書』（冊子）を粟国村の全世帯に配布する。
5	PI実施目標について	意見募集においては、高齢者の方々でも理解できるよう、文字を大きくするなど、わかりやすい表現に努め、8割から9割の思いを込めて、より丁寧に説明し集約すべきである。	PI実施計画書（案）のダイジェスト版作成し、全世帯に配布する際に、丁寧な説明を行いたい。 実施段階の意見募集については、回収目標を7割から8割に変更します。 PI実施計画書（素案）の7頁、「PI活動の実施目標」において次のとおり変更した。 『粟国村の全世帯の約8割から意見の収集を目指します。』
6	実施計画書（案）のまとめ方	PI実施計画書（案）の方向性や内容はこれでよい。8頁以降のPI活動の実施手法等は、PI活動の流れにそって項目番号を工夫すると見やすい。	PI実施計画書（素案）はPI活動の流れに沿って、次のとおり項目番号を整理しました。 ■PI活動の方法（P9） ①PI活動の周知・PR活動 ②情報の提供と意見収集 ③寄せられたご意見と対応方針の公表 ④PI活動の終了とPI活動記録

第1回粟国空港PI評価委員会の指摘事項と対応方針について

整理番号	項目	指摘事項（評価・助言）	対応方針（PIプロセスへの反映）
7	実施計画書（案）のまとめ方	地方空港に対する国の考え方が大きく変わった。RACによる路線復活も親会社のJALの動向に大きく左右される。航空会社の状況は伊平屋の時とは異なる。このような現実を客観的に見つめる必要があり、たとえ多くの村民の合意が得られたとしても、その後には厳しい現実があることも考えておく必要がある。	PI実施計画書（素案）の5頁、「空港整備の検討の流れ」において次のとおり追記した。 『事業主体が、「検討を継続する」と判断した場合には、事業化に向けた検討や調査を進めますが、用地の確保に向けた地権者の協力・理解、将来の利用者見込み、航空会社の定期就航の意向、費用対効果等の新規事業採択に向けた課題の解決の見通しが立たなければ、事業に着手することはできません。』
8	PI実施段階における提供情報について	粟国空港の拡張整備事業は、生活の安定、地域振興の二つを目的としているが、この2点で事業の必要性を説明すると、空港整備に向かうような誘導尋問的な意見の収集になる恐れがある。	PI実施計画書（素案）の2頁、「PI活動の基本方針」において次のとおり追記した。 『粟国村の住民生活の安定と地域振興を目的とし、将来にわたり安定的に航空機を利用できるよう空港整備を進めるかどうか、粟国村の住民の意向が大変重要になります。』 第3回粟国空港PI評価委員会で審議いただき、『粟国空港調査報告書（案）』において、地域振興における航空路および空港の役割について、わかりやすくまとめていきたい。
9	PI実施段階における提供情報について	拡張整備を実施した場合、どんな効果があるのか、何ができるようになるのか、シナリオを示すことは出来ないか。	PI活動を通じて、空港整備の効果や、事業の費用対効果等についても情報を提供し、意見を収集する必要があると考えております。PIでは、「透明性の確保」を基本としておりますので、新たな利用促進策や振興施策を併せて提案することはできないと考えております。 第3回粟国空港PI評価委員会で審議いただき、『粟国空港調査報告書（案）』の中で粟国村の将来構想という形で紹介できるか検討したい。
10	整備計画案について	空港の拡張は海を埋め立てる以外にないのか。むしろ土地改良事業区の方に伸ばして、海はなるべく壊さないという発想はないのか。	整備計画案の中に、海を埋め立てない計画案もあります。これからの調査・設計を踏まえて、これまでの検討経緯や同意取得状況を複数案と併せて、情報提供したい。

第1回粟国空港PI評価委員会の指摘事項と対応方針について

整理番号	項目	指摘事項（評価・助言）	対応方針（PIプロセスへの反映）
11	空港整備の必要性について	今の航空会社が一人でも運航するのであれば不自由はないのではないか。需要もそれほど多くはないのではないか。	<p>PI実施計画書（素案）の「はじめに」において次のとおり追記した。</p> <p>『現在、不定期便として航空路が維持されていますが、航空会社の経営、小型機の数、新しい小型機の生産動向が不透明な状況を踏まえると、粟国空港の滑走路長を延長しなければ、いずれ就航できる航空機材が無くなり、飛行機を利用できなくなる恐れがあります。』</p> <p>今後の社会経済情勢の動向や現状について、客観的な事実を情報提供し、PI対象者に対して、不便はないのか、このPI活動をとおして、意見を把握したい。</p>
12	航空路の確保に向けた利用促進について	過去に5万人の利用者があったこともある。航空路の整備とともに地域振興を掘り下げて検討していく必要がある。	<p>粟国空港整備計画に関するPIでは、「透明性の確保」を基本としていますので、利用促進策や振興施策を併せて提案することはできないと考えております。</p> <p>しかしながら、路線の維持のためにも、粟国村が主体となり取り組んでいく必要があると考えています。</p> <p>第3回粟国空港PI評価委員会で審議いただく、『粟国空港調査報告書（案）』の中で粟国村の将来構想という形で紹介できるか検討したい。</p>
13	航空路の確保に向けた利用促進について	島と那覇を結ぶ路線だけでなく、離島間を結ぶ路線（アイランドホッピング）があってもよい。複数の村と協力して離島航空路ネットワークはできないか。	<p>航空会社などへ意見を伺い可能性などについて、第3回粟国空港PI評価委員会で審議いただく、『粟国空港調査報告書（案）』において、情報提供できるようまとめていきたい。</p>
14	PI実施計画段階における情報提供方法について	PI活動のラジオによるPRは、どこの放送局なのかを丁寧に記述する必要がある。	<p>PI実施計画書（素案）の9、10頁の「PI活動の方法」において、ラジオの放送局名（ラジオ沖縄、RBCiラジオ、FM沖縄）や放送時間を追記します。</p>